

月例報告

学部	経済
学科	国際経済
国名	マレーシア
留学先	マラヤ大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p>&lt;科目名:&gt; まだ始まっていません。今日でちょうどオリエンテーションが全て終わりました。</p> <p>&lt;語学について&gt; ルームメイトがメキシコからの留学生なので、毎日楽しく彼女と会話をしています。とても穏やかで優しい性格のルームメイトで良かったです。また、同大学の山本さんとも日本語をほとんど使わず、英語で会話をしています。お互いに意欲を高められるので、良い関係を築けていると感じています。まだまだ成長途中のため、引き続き精進します。ただ、例えば中国、タイ、インドネシア、そして日本とたくさんの留学生が集まっているので皆自国の言葉を使います。私と山本さんは日本人同士ですが、英語で会話しています。周りの意識が低いことに少しいらいらする部分もあります。なんのためにマラヤ大学に来たのか。もちろん、語学力を伸ばすためだけではありません。英語はコミュニケーションのためのツールにしかありません。しかし、最初のステップとして授業が始まっていない今は、少しでも語学力向上のために時間を使うべきかなと個人的には思います。</p> <p>マレーシアの人は会話を共にした人は、全員流ちょうに英語を話していました。皆さん、とても楽しそうに「どこの国から来たの」と話しかけてくれるので、マレーシアの国民性はとても好きです。適当な部分も多いですが、基本的に明るく陽気です。授業が始まったら、より多くのマレーシア人の生徒さんと仲良くなりたいです。彼らは英語を人前で使うことを、日本人のように恐れていないというように感じます。幼いころから、英語を使う環境に慣れているからだと感じます。もともと母語ではないにも関わらず、国民のほとんどが英語を抵抗なく使っている点がとてもうらやましく思います。</p> <p>自分で英語を話していて、やはり言葉がすぐ出てこなかったりすることが多く、まだまだだ...と思うことが多いです。しかし、今回の留学で出会った友人たちもあくまで第二言語で英語を話しています。彼らも簡単な言葉で、自分の言いたいことを伝えようとしています。みんな同じなのだ、少し安心する一方負けたくないという気持ちがあります。まだまだ頑張ります。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>特に困ったことはありませんが、シャワールームとトイレの数が少なく共同なので、少し悩ましい部分もあります。ほとんどのシャワーは水しか出ません。使う人によっては後があまりきれいでない場合もあります。色々な人がいるなど改めて思います。しかし、毎日お掃除をしてくる方がいるので、結果少きれいになっていてありがたいと思います。食事に関しては、そんなに困っていませんが東南アジア独特のテイストとクオリティに時折驚くこともあります。サンドイッチを朝ご飯として支給されたとき、それには生の野菜が挟まっていました。夜に食べようと取っておき、夕食に一口かじった後よく見ると、虫がトマトの間から見えました。それが、食に対する最初のショックです。食事に関しては、何も心配がいらなと感じていた初期ですが、日本とは違い色々気を付けなければならない点が多くありそうです。今日、クロージングセレモニーの際に支給されたナシレマはとても美味しかったです。良い発見がこれから出来るようにしたいです。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>大きな違いを感じている点として挙げられるのは、日本とマレーシアのシステムの違いです。つまり、日本はきちんとシステムがどんなときも整っている反面、マレーシアは気分と時間次第でコロコロ変わるということです。留学前、先方の国際課から指定された通りの資料や証明写真をきちんと用意して行きました。しかし、実際は指定された枚数よりも多く必要な場面があり、結果足りなくなるという状況に陥りました。言われたことと実際のことが全く違います。それが、この一週間の間で沢山起こっています。また、各イベントがスタートする時間が毎回遅れます。休憩時間が2時間あったりします。日本時間なので、今は色々過敏になっているのだと思うのですが、改めて日本の整った各システムに感謝しています。でも、マレーシアだと遅れてもなんとかなる場合も多いので、その点に関してはとても助かっています。また、それぞれの学部が寮から非常に遠く(多摩キャンパスの何倍も)バスを出来れば使いたいのですが、バスが時間通りに来ず結果グラブカーもしくは歩きで向かう羽目になります。朝きちんと起きられるのか、非常に不安に感じています。授業登録もきちんとできるのか、大きな不安が今あります。とりあえず、指定の期間内にやるべきことが終わらせられるようにだけ気を付けようと思います。楽しみと共に不安を抱えながらの生活を送っていますが、なんとか頑張れそうです。以前、大学の夏期英語強化プログラムで知り合った友人にも会うことが出来、助けてくれる友人がそばにいることにとっても感謝しています。</p>